

現代①「昭和時代戦後期」

戦後日本と国際社会 C

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本は、1945年に（あ）宣言を受け入れて無条件降伏し、GHQの指令にもとづいて、い憲法の改正をはじめとする、うさまざまな戦後改革を行った。国際連合がつくられ、世界は一つにまとまるかと思われたが、（え）。日本の占領政策の中心となっていたアメリカが、東側諸国の勢力の拡大をおそれたことから、お日本の独立や国際社会への復帰が早まった。

(1) （あ）にあてはまる語句をカタカナで答えなさい。

 [1]

(2) 下線いについて述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本国憲法が施行された日は、現在、建国記念の日として国民の祝日になっている。
 イ 主権は天皇がもつと定められた。
 ウ 国民の権利が、すべての人々が当然持つ基本的人権として認められた。
 エ 平和を守るための強い軍隊を新しくつくること定められた。

 [2]

(3) 下線うについて、右の図からは、ある戦後改革の結果を読み取ることができる。最も関係の深い政策を次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 財閥解体 イ 極東国際軍事裁判
 ウ 選挙法の改正 エ 天皇の人間宣言

 [3]


(4) （え）にあてはまる文を、「米ソ二大国」「東西対立」の2つの語句を用いて簡単に答えなさい。

 [4]

(5) 下線おについて、次のできごとをおこった順に左から並べ、記号で答えなさい。

- ア 日ソ共同宣言が発表される。
 イ 日本が国際連合に加盟する。
 ウ サンフランシスコ平和条約に調印する。

 → → [5]